

# チャレンジの先にあるもの(リモートサマーキャンプ感想より)

—世界に通じる力を育てる—第 109 号

メルマガご愛読の皆様、こんにちは。

NPO 法人多言語広場(ピアザ)CELULAS の尾本です。(以下セルラスと表記します)

セルラスで毎年夏休みに行われている『青少年サマーキャンプ』。

小学 3 年生から高校生までのメンバーが全国から集まり、3 泊 4 日、多言語活動を思いっきり行います。

3 密中の 3 密になる内容なため、今年は子供たちの安全を考えると、中止も致し方ないと誰もが思っていました。

しかしながら、青少年が大成長を遂げるこのプログラムをやらないのはもったいないと考え、夏の韓国ホームステイプログラム同様『サマーキャンプもリモートでやってみよう!』ということになりました。

期間は 6/28~8/30 までの約 2 カ月間。

その間 2 回の全体会と 4 回のグループタイムがあり、最終日にはグループごとに自分たちがこの夏頑張ってきた成果を発表する会を行いました。

今回はキャンプに初参加の青少年とそのお母さんの感想を掲載いたします。ぜひ、お子さんも一緒にお読みいただければと思います。

---

## 『やっぱり言ってみたい! やってみたい!』

川崎市在住 藤尾 K くん(小 3) 家族構成: 父・母・弟(年長)

今年のキャンプはリモートで、いろんなピアザから来ている人がグループにいて、さいしょはみんなきんちょうがありすぎて、カッチカチだったけど、グループタイムの 2 回目、3 回目とかになるとだんだんカッチカチもほぐれてきました。

ぼくが今回、一番がんばったのはフランス語です。

さいしょ、ぜんぜん言えなくて、くやしくて、お話の一部分だけでも言えなくて、『がんばろう!』と思っても『これを 3 カ月もつづけるのかな』と思うと、本当に気もちがたいへんでした。

でも、たくさん CD をきいて、言ってというのをしていたらできるようになりました。

キャンプさいごの日のグループ発表は時間が足りなくなって、ぼくがやる予定だったフランス語のワンマンロールプレイ(※1)はできなくなりました。

その時は少し「ホッとした~」みたいな感じだったけど、すごくがんばって言えるようになったから、今は「やっぱり言ってみたい、やってみたい!」と思えるようになりました。

※1) ワンマンロールプレイ: 物語を立体化させるために、それぞれの役に分かれて、その人物の感情や背景などをみんなと一緒に表現するロールプレイを、全役 1 人でやるのがワンマンロールプレイ。

---

## 『我が子に教えられた「チャレンジ」する姿勢』

藤尾さん (K くん母)

サマーキャンプ自体も初めてなのに、しかも全てリモートで、どうなるかと最初は不安もありましたが、本来だったら現地に行ってしまうと見ることのできない、子供の挑戦する姿、成長していく姿を近くで見ることができたことは本当に良かったです。

初めての仲間たちとコミュニケーションを取り、回を増す毎に積極的にリモートでも発言していく息子を見て、とても頼もしく感じるようになりました。

8月に入って、最終日の発表に向けて何をやるかを決めた際、息子はすでに割と言っていた中国語ではなく、その時はまだまだ難しそうで、できるようになる感じがしなかったフランス語の担当に立候補しました。

結果、なかなか言えるようになれず苦労している姿をみて、私は息子にこう言いました。

「もっと簡単な方を選んだら良かったのに。」と。

すると息子から

「せっかくキャンプに参加をしているのに、難しいことをやらないともったいない。挑戦しないとったいない。」という返事が返ってきました。それを聞いて私はとても感心し、息子の大きな成長を感じました。

とはいっても、学校の宿題があったり、その他の習い事の課題があったりとキャパオーバーになることもあり、自発的にモチベーションをあげていくのは難しく、「やっぱり親子で頑張んなきゃいけないな。」と思って親子で一緒に取り組みました。

時々息子に「お母さんもやってみてよ」と言われると、言えないながらも一生懸命やってみたり、時には私の熱が入りすぎて、息子が疲れてしまったり、泣いてしまう日があったりもしました。

『みんながどれほどやってくるのか?』とか考えてしまうと、『もっとシャドウイング(※2)とかやった方が…。』と思って私一人焦ってしまうこともありました。

そんな私の気持ちとは裏腹に、息子は結構リラックスしていたりして、たぶん私のせかす態度に『なんでこんなにやらされなきゃいけないんだろ?』とか思っていたと思います(笑)。

でも、親子で一緒に頑張った、乗り切った、というのは息子も感じてくれたと思います。

キャンプ全体を通して、息子をはじめ、キャンプに参加した多くの子供たちがリモートでも真剣に多言語に取り組み、自分なりに少しでも何かを伝えようとしている姿に、大変胸が熱くなりました。

どんな状況でも、子供達の可能性は無限大だと思いました。

この夏、親子で貴重な体験が出来たと思います。本当にありがとうございました。

※2) シャドウイング: CDの音声に合わせて、影のようにくっついて声を出すこと。

いかがでしたでしょうか？

今年はリモートでサマーキャンプをやったからこそ、見つけた・気づいたことがあったようですね。

大人も子供も可能性は無限大だと私は常々思っていますが、可能性が広がるのは、やはり何かをチャレンジしたからこそではないでしょうか。

チャレンジをするのには勇気が要ります。

その勇気を一緒に親子で培える環境はセルラスならではかもしれません。

<セルラスインフォメーション>

◆セルラス公式 SNS のご案内

今までメールマガジンを中心にセルラスの情報などを配信させていただいておりましたが、この秋からオンラインでの講演会に向けて、セルラスの公式 SNS を開設いたしました。

Facebook: <https://www.facebook.com/tagengo.celulas/>

Instagram : [https://www.instagram.com/npo\\_celulas/](https://www.instagram.com/npo_celulas/)

YouTube : <https://www.youtube.com/channel/UCIAb5efyT94xBdRDy00wPww>

すでに様々な情報、動画などを配信しています。

どうぞご覧いただき、フォロー・シェア・YouTube チャンネル登録などをお願いします。

◆オンライン講演会のお知らせ

メルマガ特別号でもご案内させていただきましたが、9/28(月)セルラス初のオンライン講演会を開催いたしました。すでに第2回目の講演会の開催が決まっております。

前回参加できなかった方や、もう一度聞いてみたい方など何度ご参加いただいても無料です。

お友だちにもお声掛けいただき、一人でも多くの方と講演会でお会いできればと思っております。

日時：10月22日(木) 13:30～15:30

10月24日(土) 20:00～22:00(この日の講演は録画したものになります)

お申し込み方法や詳しいご案内等は、HPや各種SNSよりも早く配信させていただきます。

●NPO 多言語広場 CELULAS のホームページ

<http://celulas.or.jp/>

セルラスメールマガジンにはいつでもご登録いただけます。

下記のフォームよりお申し込みください。

<https://www.itm-asp.com/form/?1450>